

— 技術管理者CPDS認定 —

## 平成26年度「廃棄物処理施設技術管理セミナー」終了報告

盛会裏に終了しましたことを報告いたしますとともに、当日ご参加いただいた皆様、ご協力いただきました関係の皆様に厚く御礼申し上げます。

※なお、来年度の同事業は、平成28年1月～2月の間に開催予定です。

ご案内は、当協会環境技術会誌161（10月）号以降に順次掲載いたします。また、ホームページ上でもお知らせいたします。

☆主 催：一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会

☆協 賛：

一般財団法人 日本環境衛生センター、一般社団法人 環境衛生施設維持管理業協会、  
公益社団法人 全国産業廃棄物連合会、公益社団法人 全国都市清掃会議、  
一般社団法人 日本環境衛生施設工業会、一般社団法人 日本廃棄物コンサルタント協会、  
公益財団法人 廃棄物・3R研究財団

☆開催月日／会場：

- ・東京会場：平成27年1月26日（月）  
連合会館 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11
- ・大阪会場：平成27年2月5日（木）  
大阪科学技術センター 〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1-8-4

☆プログラム： 次頁に掲載します

当協会所属会員各位には、プログラム上の講演テーマをクリックすると各講演資料がご覧いただけます。閲覧には当協会ホームページ「会員のページ」用のパスワードが必要です。パスワードが不明の会員は、パスワード取得用フォームに必要事項を記入の上、送信してください。

## ●講演1「近年における廃棄物処理法の改正の要点と今後の法改正の課題」

BUN 環境課題研修事務所 主宰 長岡 文明

平成22年改正後も、いくつかの法令改正や施行通知がなされている。これらの改正について確認するとともに、その傾向から、一般廃棄物、産業廃棄物それぞれに抱える課題と、今後の廃棄物処理行政の方向性を考えてみたい。

## ●講演2「廃棄物処理と余熱利用推進策」

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課 課長補佐 元部 弥

### 1. 廃棄物処理政策の変遷

循環型社会形成推進基本法における優先順位

① 生抑制、②再使用、③再生利用、④熱回収、⑤適正処分

### 2. 廃棄物処理における熱回収

- ・東日本大震災以降、災害時も含めて安定供給が可能な地域分散型エネルギーシステムとして、廃棄物処理における熱回収の重要性が再認識されている。
- ・廃棄物エネルギーは地域のエネルギー戦略に貢献するポテンシャルを持っている。

### 3. 廃棄物処理施設整備計画

現在の公共の廃棄物処理施設の整備状況や、東日本大震災以降の災害対策への意識の高まり等、社会環境の変化を踏まえ、3Rの推進に加え、災害対策や地球温暖化対策の強化を目指し、広域的な視点に立った強靱な廃棄物処理システムの確保を推進

### 4. 平成27年度環境省重点施策の4本柱

- ①東日本大震災からの復興と震災の教訓を踏まえた防災・減災
- ②新たな時代の循環共生型の地域社会の構築
- ③我が国の実績ある環境政策、環境技術の海外需要を捉えた国際展開
- ④オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた取組

### 5. 循環型社会形成推進交付金

増大する廃棄物処理施設の更新需要に対応するため、「高効率エネルギー利用」及び「災害廃棄物処理体制の強化」に資する包括的な取組を行う施設に対して、重点的に支援

【高効率なエネルギー回収型廃棄物処理施設の要件（交付率1/2）】

- ・ごみ焼却施設 エネルギー回収率 24.5%相当以上（規模により異なる）等
- ・メタンガス化施設 熱利用率 350kWh/ごみトン以上 等

### 6. エネルギー対策特別会計の活用

「廃棄物処理施設整備計画」において、地球温暖化防止及び省エネルギー・創エネルギーへの取組にも配慮した廃棄物処理施設の整備が位置付けられており、廃棄物分野においてエネルギー対策特別会計を活用できる可能性のある事業を幅広く検討

### 7. 余熱利用の推進施策

- ・市町村の3R化ガイドライン

- ・廃棄物発電の高度化支援事業
- ・廃棄物系バイオマスの利活用の推進
- ・廃棄物エネルギー導入・低炭素化促進事業

### ●講演3「し尿・汚泥再生処理施設の震災対策と長寿命化」

(一財) 日本環境衛生センター 環境工学部 松田 圭二

廃棄物処理施設整備計画（平成 25 年 5 月）が目指す方向性を考慮し、し尿・汚泥再生処理施設に求められる震災対策や長寿命化に関する現状での取組を報告する。震災対策では、東日本大震災における被害の特徴を踏まえ、システムの強靱化に向けた主な対策や留意事項について言及する。

長寿命化では、し尿・汚泥再生処理を取り巻く状況を整理した上で、長寿命化計画、基幹的設備改良工事について概説する。

### ●講演4「産業廃棄物処理業の課題と今後」

(公社) 全国産業廃棄物連合会 専務理事 森谷 賢

産業廃棄物業界は、廃棄物から資源やエネルギーを作り出す産業に移行しつつある。その業界においては様々な課題や挑戦がある。優良化認定とその効果拡大、リサイクル品の品質と利用先の確保、安全衛生の向上、低炭素社会への対応、災害廃棄物の制度改善、国際条約の国内措置への対応、海外への事業展開など様々である。本講演では、これらを解説し、資源循環に取り組む業界の現状を報告する。

当セミナーを受講されたCPDS※登録者が、この記録をつける際には、[こちらの「認定プログラムの詳細」](#)をご確認ください。

※CPDとは、「Continuing Professional Development」の略称で、継続学習、継続研鑽、継続職能教育、継続的専門能力開発あるいは継続職能開発などと略されます。詳細はホームページをご参照ください。

<http://jaem.or.jp/cpd.html>